

# 2020 年度・芸術工学実習(D)4 後半のすすめかた (情報環境デザイン学科)

## ■ テーマ

共通課題：「混ぜる／混ぜる」

## ■ 参加教員

学科所属全教員

## ■ スケジュール

第1週：11/19 ガイダンス、課題について [M101]

第2週：11/26 学生の発表1 (全員, 2分) (15点) [M101] (\*1)

第3週：12/03 実作業・相談 [M101]

第4週：12/10 学生の発表2 (2グループに分れて(\*1), 3分) (20点)

第5週：12/17 実作業・相談 [M101]

第6週：01/07 学生の発表3 (2グループに分れて(\*1), 3分) (20点) (\*2)

第7週：01/14 実作業・相談 [M101]

第8週：01/21 講評会 (全員, 3分) (45点) [M101]

### 【教員グループ】

グループA：栗原、小鷹、塙、横山

グループB：大坪、作間、中川、水野

	第4週(12/10)	第6週(01/07)
学籍番号奇数	グループA [M101]	グループB [M101]
学籍番号偶数	グループB [セミナールーム]	グループA [セミナールーム]

(\*1) 11/26の発表では、発表用の資料としてA4用紙1枚を書画カメラで映してプレゼンテーションを行うこととする。資料の作成についてはP3を参照のこと。

(\*2) 01/07の発表では、制作物のプロトタイプの呈示を条件とし、これを評価の基準とする。

■ 発表の際の注意事項（2・4・6週）

- ・ 発表は原則対面で行います。対面発表において、発表者が zoom を使用する必要はありません。やむを得ない事情で遠隔での発表を希望する学生は、当日の朝 9 時までに小鷹（kenri@sda.nagoya-cu.ac.jp）に連絡をください。授業開始前に zoom による接続方法を指示します。

■ 相談の際の注意事項（3・5・7週）

- ・ 相談は、原則遠隔で行います。授業開始後 5 分の間に、相談希望の教員の Zoom に入室し、時間調整を行ってください。各教員は、この調整で決まった時間スケジュールを、zoom のチャット欄に貼り付けておくので、二人以上の教員との相談を希望する学生は、都合の良い時間に対象となる教員の zoom に入室し、教員の相談状況に応じて、チャットなどを通して教員と時間調整を行ってください。
- ・ 実物を見せる必要がある場合は対面による相談を認めます。対面を希望する学生は、Zoom での時間調整の段階で、場所の調整も同時に行ってください。
- ・ 各教員の zoom のアドレスは、WEB で公開します。基本的に各教員は、授業時間内には zoom を開いておき、二人目以降の入室に対応できるようにします。

■ 注意事項

- ・ 実作業・相談の回は、最低一人の教員への相談を行うことで出席とみなされます（教員の側で名簿のチェックを行います）。
- ・ 病欠の場合は、事後に診断書を提出してください。
- ・ 授業に関する質問や診断書の提出は小鷹(kenri@sda.nagoya-cu.ac.jp)まで

# 学生の発表 1 発表用の資料について

## 1. 発表資料の要件

- 原則として A4(横使い)1 枚にまとめること。
- ワードソフトなどを用いて電子的に作成すること。手書きは不可とする。
- 図表は、手描き以外の方法では作成が難しい場合(例えばドローイングなど)を除いて、電子的に作成すること。
- 20pt 以上の可読性が高いフォントを使用すること。
- 可読性の高い配色にすること。以下は、論外な配色の典型的な例である。

例) ダメな例 1、ダメな例 2、**ダメな例 3**

## 2. その他

- 必要に応じて、書画カメラに映せる補助資料(例えばモック、タブレットなど)を使用してもよい。